

# 飛鳥 藤原京の道

平成25年度飛鳥資料館・秋期特別展

竹内街道千四百年記念／奈良文化財研究所都城発掘調査部(飛鳥・藤原地区)設立40周年記念

平成二十五年十月十八日金——十二月一日日

開館時間 午前九時から午後四時三十分・入館は四時まで 会期中無休

特別展記念講演会 日時：十一月十六日(土)午後一時三〇分から

演題：「飛鳥へ続く道」

講師：文化庁文化財部記念物課文化財調査官 近江俊秀氏

入館料■一般・二六〇円(七〇円)大学生・一三〇円(六〇円)高校生及び十八歳未満は無料( )内は二〇名以上の団体

交通■近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅からかめバス(周遊)「飛鳥資料館」下車または近鉄・JR桜井駅から石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車

主催■独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館

後援■文化庁・近畿日本鉄道株式会社・奈良交通株式会社

<http://www.nabunken.go.jp/asuka/>

飛鳥資料館

奈良県高市郡斑鳩町斑鳩1-1-1 TEL:074-357-0101  
DESIGN BY TSUKIYA PHOTO BY TANIGUCHI

文化庁  
POWER OF CULTURE



いまから千四百年前にあたる推古天皇二十一年のこととして「難波より京（飛鳥）に至るまでに大道を置く」という記事が『日本書紀』にあります。この大道とは、奈良と大阪をむすぶ竹内街道と、それにつながる横大路をさすと考えられてきました。

また今年には、奈良文化財研究所都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）の前身に当たる組織が昭和四十八年に設立されてから四十年にあたります。そこで秋期特別展として、飛鳥と藤原京の道をテーマとする展覧会を企画いたしました。

今回の展示では、奈良文化財研究所の発掘調査成果を中心として、飛鳥・藤原京の道とその造営、道を通じて国内外の各地から運ばれてきたさまざまな物品、道と戦い、祭祀といった内容に焦点をあて、古代の道をめぐるさまざまな研究成果をご紹介します。



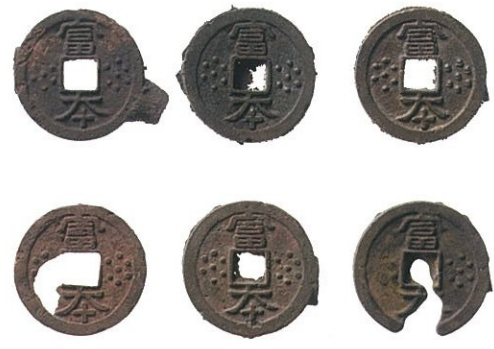
竹内街道



各地から運ばれてきた土器



陶質獸脚硯



富本銭

展示期間

平成二十五年十月十八日金から  
十二月一日日曜日まで

会期中無休

午前九時～午後四時三十分

（入館は午後四時まで）

秋期特別展記念講演会

「飛鳥へ続く道」

近江 俊秀氏

（文化庁文化財部記念物課  
文化財調査官）

日時：十一月十六日（土）

午後一時三十分開演

会場：飛鳥資料館講堂

※事前申し込み不要

料金

一般二百六十円（百七十円）

大学生百三十円（六十円）

高校生および十八歳未満は無料

※（ ）は二十名以上の団体料金です

お問合せ

飛鳥資料館

奈良県高市郡明日香村奥山601

電話 0744-54-3561

<http://www.nabunken.go.jp/asuka/>